

北九州市民の会ニュース

仁比聡平さん、参議選結果報告

「引き続き先頭に立ち、頑張りぬく！」

みなさん、おはようございます。先程、7時40分に共産党最後の議席が確定し、私は残念ながら届きませんでした。いったん国会から離れることとなりますが、みなさんと一緒に力合わせて、「安倍政治NO!暮らしに希望を」と、この選挙戦で、全力で訴えてきた公約の実現のために、大きな運動で国会を包圍していく先頭に立って頑張りぬいてまいりたいと思います。

(中略：熱い思いが伝わり、目頭が熱くなるような演説が続く)

捲土重来。日本共産党が強く大きくなってこそ、日本の政治を本当に変えていくことができる。財界の圧力や、アメリカの横やりがあったとしたって、皆さんの願いをほんとに民主主義の力で変えていく政治を作っていくために、これからも、全力を尽くして頑張りぬいて参ります。(7月22日 8:00 博多駅前にて)



門司区民の会が現地視察 門司港地域複合公共施設

7月26日、門司区民の会は門司港地域複合公共施設の計画されているJR門司港駅周辺を13名が参加して現地視察しました。北九州市の都市マネジメント政策室の担当3名の方から説明をしてもらいました。現在の鉄道記念館の入り口にある駐車場とJR門司港運転区詰所の合計7800㎡をJR九州から借りて、複合施設（区役所、港湾局、生涯学習、体育館、図書館）と駐車場（5階）を建設する計画です。視察しての感想は、「区役所移転は門司区全体に関係する。説明が必要ではないのか」「JRの土地なので借地料など多額になるのではないのか、採算が取れるのか?」、「駐車場の入り口が混雑するのではないのか」、「門司港駅舎が複合施設と駐車場に5階建てに囲まれてレトロ景観にふさわしくない」「市の所有する旧JR九州本社ビルの活用はしないのか」などの声が出されました。



こちら、「生活保護110番」です！

7月25日（木）、公益財団法人健和会の北九州医療・福祉総合研究所で「生活保護110番」がありました。10:00~17:00、高木健康弁護士さんを筆頭に、健和会の職員さんでMSW（メディカルソーシャルワーカー）である複数のメンバーが、親身になって生活困窮者の皆さんの相談に応じられます。この日は5人の相談がありました。直接の面接相談が中心ですが、電話での対応もできます。毎回、7000部のピラを近隣の住宅に配布しお知らせしますから、「生活保護110番」が広く知れ渡っていくようです。しかし、様々な深刻な生活困窮者の実情を考えますと、充実した包括的な地域ケアシステムがつくられ発展していくことが望まれます。



新たに国会に臨む 日本共産党国会議員団

日本共産党国会議員団せいぞろい。参議院13人、衆議院12人、計25人です。参院選で掲げた公約実現に、市民と野党の共同をいっそう広げて、がんばります。

猛暑の中での撮影。カメラが向けられる直前まで、上着は着ていませんでした。これからもよろしくお願ひします。

(8月2日 田村貴昭氏FBより)



平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail:koe@siminnokai.com

広島と長崎で平和を誓い合う 平和祈念式典・原水爆禁止世界大会

<共産党が原爆碑に献花>

日本共産党の志位和夫委員長は6日早朝、広島市の平和記念公園で原爆碑に献花し、犠牲者を追悼しました。献花には、志位氏と山下芳生副委員長、笠井亮衆院議員、井上哲士、岩淵友、伊藤岳の各参院議員、大平喜信前衆院議員、仁比聡平前参院議員、村上昭二広島県委員長、辻恒雄広島県議、中森辰一、近松里子、中原洋美、藤井敏子、吉瀬康平の各広島市議が参加しました。



<原水爆禁止世界大会・長崎開会総会>

7日、長崎市内で開かれた原水爆禁止2019年世界大会・長崎の開会総会では、長崎市長や被爆者らから、新たなたたかいがよびかけられ、被爆体験や「ヒバクシャ国際署名」を広げ、市民社会の力で「核兵器のない公正な世界」の実現へ連帯・努力する決意が語られました。田上富久長崎市長は、『核兵器のない世界を一日も早く実現するために市民社会の力をともに発揮したい。「核兵器はいらない」というメッセージを広げていただくことを、長崎市民の代表として、仲間としてお願いします。』と訴えました。9日の平和祈念式典でも感動的な挨拶をしました。安倍首相の無感動な儀礼的挨拶。対照的な二人の挨拶は、私たち国民が聞いている。



年金引き下げ違憲訴訟学習会

8月7日(水)、山本一行氏(福岡・佐賀原告団弁護士)を招いて「札幌地裁不当判決克服のために」と題した学習会が開かれました。生涯学習総合センターA・B教室が満員。山本弁護士は、札幌地裁不当判決の内容を詳しくわかりやすく解説したうえで、不当判決をどう乗り越えるかについて熱く語られた。乗り越



えるべき課題として、①人よりも財政重視の考え方を転換する、②年金引き下げによる生活への影響という実態に目を向けさせる、③年金制度そのものの人権としての役割、特例水準が人権保障の役割を担っていたことを制度設計から示す必要があるとしました。

北九州の青年が「青年シンポ」を 企画・準備中!

8月8日(木)、第3回青年シンポ検討会議が開かれました。第1回(6月10日)、第2回(7月4日)と検討会を重ね、おおよその企画がまとまってきました。健和会労組青年、福建労組青年、市職労青年部、KOH0労組青年と若い弁護士さん(アスワカのメンバー)の皆さんが自由闊達に議論をし、以下のような企画案が練られてきました。

北九州市民の会主催 第1回青年シンポジウム
「自分の職場のいいところ わるいところ」
11月9日(土)健和会複合施設2F地域交流センター
討論テーマ提起 グループ討論 まとめ

第4回青年シンポ検討会議は、9月12日(木)
14:00 健和会医療・福祉総合研究所



田村さん、反核マラソン完走! 長崎平和祈念公園にゴール

無事ゴール▶🌧▶感激です♥

高温で一時的に中断しましたが、長崎平和祈念公園に無事ゴールしました♥。

今年も暑い、熱い走りは感激の中終了しました。あぁ〜♥熱かった。...



<被爆犠牲者慰霊碑に献花>

8月8日、核兵器禁止条約の発効には50カ国の批准書が必要。現在25カ国。日本も早く批准を。唯一の被爆国が何をしている。日本共産党九州沖縄ブロックが呼びかけて、各県の代表が被爆犠牲者慰霊碑に献花。核兵器廃絶への決意をこめて。

